



JC-HITS

PRESS RELEASE

平成 18 年 2 月 28 日
ジャパン ケーブルキャスト株式会社

CATV2社が自主放送スクランブルシステムを利用開始

～ JC-HITS サービスに更なる付加価値を追求します。～

K ビジョン株式会社(以下、K ビジョン、本社:山口県下松市、代表取締役社長:山田宏氏)並びに株式会社シティーケーブル周南(以下、CCS、本社所在地:山口県周南市、代表取締役社長:岡田幹矢氏)は、平成 18 年 2 月よりジャパン ケーブルキャスト株式会社(以下、ケーブルキャスト、本社:東京都中央区、代表取締役社長:藪下憲一)が提供するケーブルテレビ局向けデジタル化ソリューションサービス「JC-HITS」(ジェイシー・ヒッツ)の自主放送スクランブルシステムを利用したサービスを開始しましたのでお知らせいたします。

Kビジョンは平成16年10月より、CCSは平成17年4月よりそれぞれJC-HITSを全面的に採用したデジタルサービスを展開してまいりましたが、この度自主放送スクランブルシステムを導入し、新たなデジタルチャンネルの追加を行いました。自主放送スクランブルシステムは、ReMUX(JCLSPEC003)システム同様、ケーブルテレビ局が自ら追加できるチャンネルを選択でき、かつJC-HITSの簡便な視聴制御(JCMS)で運用が可能なソリューションで、地域独自の高付加価値サービス展開に最適なシステムです。両社では、既存のJC-HITSトランスモジュレーションヘッドエンド設備に自主放送スクランブルに対応する設備を追加することで、サービスの付加価値向上によるデジタルサービス新規加入促進、アナログサービスご利用の加入者様のデジタルサービス移行促進を図ります。

JC-HITS 自主放送スクランブルシステムは、多 TS 追加システムと併用することで、ヘッドエンド設備ごとに最大 28CH まで視聴制御可能なチャンネルの追加ができます。さらに JC-HITS サービスと組み合わせることで、100CH 近くのチャンネルを自社で簡便に制御しながら放送することが可能です。

今後も JC-HITS 自主放送スクランブルシステム、多 TS 追加システムを導入することで、デジタルサービスの付加価値を追求されるケーブルテレビ局様の増加が見込まれております。ケーブルキャストでは自主放送スクランブルシステムへの対応や双方向サービス対応など、ケーブルテレビ事業者様のニーズに沿ったサービス提供に努めてまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

JCMS (JC-HITS Card Management System)

(本件に関するお問い合わせ先)
ジャパン ケーブルキャスト(株) 経営企画部 前田
電話 03-5299-2502
URL: <http://www.cablecast.co.jp>